

佐野常民 さの ねがみ 舊佐賀藩士、政治家。文政五年十一月、千八百肥前國生れ、明治二十五年十一月七日歿（一八三二—一九〇二）。舊姓下村、通稱榮壽、榮壽左衛門。蘭學を學ぶ。安政二年我が國初の蒸氣船と蒸氣車の模型を作製し、文久二年蒸氣船凌風丸を製造。明治八年海軍創設、十年博愛社（のうち日本赤十字社）創り。元老院議員、大藏卿、農商務相、元老院議長等歴任。一八八八年伯爵。

著書 白清 『戦役各將文集・第一編』（合著・菅原保久編著、明治三十一年五月二十日愛知・笠文社）等。

文獻、日本赤十字社編『日本赤十字社長官佐野常民傳』（大正元年八月十八日岩崎剛太郎刊）、本間樂實著『佐野常民傳—海軍の先覺—

日本赤十字社の父』（昭和十八年二月十五日時代社）、河村健太郎著『佐野常民伝』（昭和四十六年九月佐賀・川副町教育委員会）等。